

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成21年8月12日

## 【評価実施概要】

事業所番号	〃0175000835
法人名	特定非営利活動法人 すばる
事業所名	グループホーム すみれ
所在地	北見市留辺蕊町花丘22番地31 (電話) 0157-45-3011

評価機関名	(有)NAVIRE
所在地	北見市本町5丁目2-38
訪問調査日	平成21年7月28日

## 【情報提供票より】(H21年6月13日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 11 月 10 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	8 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 5.9 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り	
	1階建ての	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000 円	その他の経費(月額)	12,000~17,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,100 円	

### (4) 利用者の概要(6月13日現在)

利用者人数	9 名	男性	6 名	女性	3 名
要介護1	3 名	要介護2	1 名		
要介護3	2 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	北見中央病院 ・ おんねゆ診療所
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

温根湯温泉市街地より山側に位置したホームは、田園地帯の静かな環境に立地し緑豊かな自然に恵まれています。建物の南側には大きな窓があり、居間は明るくスペースも広くゆったりとくつろげる雰囲気になっています。庭にはテーブル・椅子が置かれ、日光浴を楽しんだり散歩以外の身近な戸外の場となっています。畑でとれた野菜や山菜は利用者の食卓に添えられ、食卓がいつそう楽しいものに演出してくれ、行事等の手作りケーキや料理は普段よりも食欲増進となり最高のリハビリとなっています。管理者・職員は利用者の残された能力を最大限に生かし、生き甲斐のある生活に繋げ、毎日を楽しく明るく過ごせるようお互い支え合っています。理念に『長い人生の主役です。自分らしくゆつくりとのんびりと』を掲げ、職員は常に自分に置き換え確認し、ケアサービスを実践しています。地域に根ざし、利用者が自分らしく穏やかに暮らせるホームを目指しています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価については職員それぞれの事情もあり、話し合う機会がもてないのが現状ですが、研修には参加する機会を設け、ケア会議の中で報告して復命書を作成し、情報の共有を図っています。運営推進会議は昨年7月以降開催が滞っておりましたが、7月に開催されています。災害時に備えて利用者の名簿や連絡網マニュアルを作成し、8月中旬に避難訓練を予定しています。系列ホームとの交流はありますが、他同業者との交流については必要性は感じており、研修会等でコミュニケーションをとりケア向上に繋がるよう検討しています。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員は評価を実施する目的や意義について理解しており、職員一人ひとりが意識確認しながら検討し、全員で自己評価に取り組んでいます。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>地域包括支援センター職員・地域住民代表・民生委員・地区住民代表・利用者家族等を構成メンバーとし、滞っていた運営推進会議を7月に開催しています。会議ではホームにおける利用者の状況、日常生活の様子、災害時に備えて等を報告し意見交換を行い、助言等を戴き今後に活かそうと努めています。会議後、行事(焼き肉)にメンバーも参加し交流しています。地域の理解と協力が得られる機会として、今後は2ヶ月に1回の開催を目指しています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>重要事項説明書に内部・外部の苦情窓口を明示し家族に伝えています。家族の来訪時を大切な機会と捉え、職員はコミュニケーションを図り家族の意見・要望等を聞き、日々のケアサービスに反映しています。『すみれ通信』を2~3ヶ月に1回発行し、生活の様子を写真で掲載したり家族参加の行事(焼き肉等)を行い、ホームの理解や信頼関係の構築に努めています。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>市の広報誌やふれあい会食・家族等により、地域の情報を共有し連帯を図っています。地域行事(本踊り・温泉祭り等)には積極的に参加したり、商店街へ買い物に出たり、散歩・理美容院に行っておしゃれをしたりと日頃から地域住民と交流し、暮らしを支えてもらうよう取り組んでいます。近隣の方々には利用者の写真入名簿を配布し、協力体制の確保に繋がっています。</p>

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	住み慣れた地域で安心して暮らし、地域生活の継続を支えるための理念を作り上げ、理念の共有を図っています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームでは、理念を日常的に実践出来るようミーティング等で話し合い、『長い人生の主役です。自分らしく、ゆっくり、のんびりと』を常に心掛けて接しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者と共に参加するお祭りに、地域の方が席を用意してくださったり、盆踊り等の行事にも積極的に参加しています。また、ふれあいの集い・会食にも参加したり、散歩時に挨拶を交わすなど地域交流を図っています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義は十分理解しており、自己評価を職員全員で取り組んでいます。自己評価作成後、職員に回覧し確認印を押し情報の共有に努めています。また、外部評価は玄関先に開示しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	7月に1年ぶり3度目の運営推進会議を開催しました。地区・地域住民代表・包括支援センター職員・民生委員・利用者家族・管理者で構成されており、ホームの概要や行事等の報告や災害時、失踪時の対応及び災害訓練について話し合われています。また、近隣住民の方には、利用者の顔写真付名簿を作成し配布します。	○	定期的な運営推進会議の開催と、議事録の配布、自己評価及び外部評価の結果を公表しながら、委員の助言を得るなど、運営推進会議と評価が一体的に活かされるよう配慮し、サービスの質の向上に期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター職員や市町村担当者とは、ふれあいの集い等に参加するなど積極的に交流をもつようにしており、サービスの質の向上に努めています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的にすみれ通信を送り、金銭管理、利用者の様子、職員の異動等お知らせしています。また、ご家族訪問時にも利用者の具体的な日頃の様子をお伝えしています。ホームの廊下には、写真入の職員紹介もあります。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付窓口を重要書類説明書に記載し、玄関先には外部評価など家族に知ってほしい内容の書類が置いてあり、閲覧を促しています。意見箱設置の他、家族が何でも話し易い雰囲気作りにも気をつけています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホーム長が離職する際、利用者の方から送別会を行いたいとの希望で、職員・利用者が共に計画しました。職員が辞める前後には新しい職員との引継ぎや利用者のダメージを防ぐよう言葉掛け等職員同士話し合い接するよう努めています。また、職員採用時に利用者の意見を取り入れています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修・講演等の案内は、いつでも職員が見れるようにしてあり参加出来るよう働きかけています。外部研修に参加した職員は、報告書を作成し会議で報告し、研修に参加出来なかった職員も勉強できるよう資料等を回覧し確認印を押すようにし、業務に活かすよう努めています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同系列のグループホームとの交流はありますが、他のグループホームとの交流はありません。	○	他グループホームとの交流は、自らのサービスを振り返る貴重な効果をもたらします。今後、交流を行いながら職員のスキルアップを図れるよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に生活暦を把握し利用者・家族にホーム内を見学してもらい、安心・納得して馴染めるよう職員同士話し合い接しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、山菜の調理法等教えて頂いたり、共に生活する利用者の言動から、勇気づけられたりすることに気づいており、そのことを大切にしながら支援しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々のペースや希望に添った支援を心掛けています。利用者の生活暦・個人史を尊重し、また家族の話や日々のかかわりの中での言葉や表情から利用者の意向や希望を把握するよう職員間で検討されています。		
を					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の希望や家族の意見・要望を取り入れ、会議において職員同士で話し合い介護計画の作成に努めています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日ケアプランに添った介護が出来ているか確認しており、定期的な見直しの他、心身の変化予兆を敏感に把握し、家族に現状を報告し職員間で話し合い随時介護計画の見直しを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者、家族の状況に応じて通院介助や送迎支援、美容、買物等の外出支援も行っています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望による医療機関への受診が出来るよう支援しており、診断内容等の情報の共有もなされています。協力医による往診、緊急時の体制も整っており、また週2回訪問看護師による健康管理も行っています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化および看取りに関しての指針を定めており、家族には説明し同意を得ています。新規職員が多く、終末期に対する話し合いがなされていない職員がおり、職員間の情報の共有がなされるよう取り組みを検討しています。	○	終末期のホームの方針や対応について会議等で積極的に話し合い、今以上に職員間の意思統一を図っていくことを期待します。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄時の誘導の声かけや対応でもプライバシーへの配慮が徹底されています。職員は、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーが損なわれない支援の取り組みを話し合われています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調や生活のペースを大切に、笑顔とゆったりとした声掛けを常に心掛け接しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームで育てた野菜を使った料理や、散歩時に利用者が採ってきた山菜等を、利用者と共に調理しています。また、一緒に食材を買いに行ったり、食器を洗う・拭く、おしぼりをたたむ等職員の見守りの中行っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりのその日の体調を考慮しながら、入浴回数や時間等希望に合わせて入浴を楽しめるよう支援しています。入浴を拒否する利用者には、無理強いすることなく言葉掛け等工夫し清潔維持に努めています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備・後片付け、山菜取り、パークゴルフ、金魚の世話、写真を撮る等、利用者はそれぞれ楽しみや役割をもっており、職員は利用者が積極的に行っている時は見守りながら利用者感謝の言葉を伝えるようにしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に散歩や買物に出掛ける他、天気の良い日には庭のテーブルに腰掛てお話しをするなど、出来るだけ戸外に出るよう支援しています。また、菊祭り見学や町のお祭りにも出掛けています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に施錠をしないでチャイムや職員の見守りで対応しています。利用者の表情等で外出しそうな様子を察知したら、一緒に外出する支援を実施しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルの作成、避難訓練を実施しています。地域住民に顔写真入りの利用者名簿及び連絡網を配布し、運営推進会議で災害時の地域住民の協力の必要性など話し合われており、8月の避難訓練時には地域住民参加で夜間想定等を行う予定があります。また、新規職員が多かった為、災害時の対応についての話合いや情報の共有がなされていません。	○	関係機関や地域の理解と協力を得て、実践を想定した避難訓練の早期実現を望みます。また、全ての職員が災害時における対応等について情報の共有が出来るよう期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者ごとの食事摂取量や水分量について記録がとられ、職員が情報を共有しています。また、その日の利用者の体調などにより食事の形態を変えたり工夫しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	緑に囲まれたホームは、日当たりが良く広々としたリビングで利用者はゆったりと過ごしています。台所で調理したりご飯が炊けるにおいを身近に感じるなど、とても家庭的な雰囲気となっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、利用者が使い慣れた家具や生活用品が持ち込まれており、本人が安心して居心地良く過ごせるよう配慮しています。		